


2019年3月期 第1四半期決算の概況



2018年7月20日(金)
モーニングスター株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

Part 1

連結決算の概況

連結業績

前年同期比二桁の増収、経常利益と当期利益は二桁の増益を達成
利益項目全てにおいて、9期連続の増益、6期連続の最高益を更新

(単位:千円)

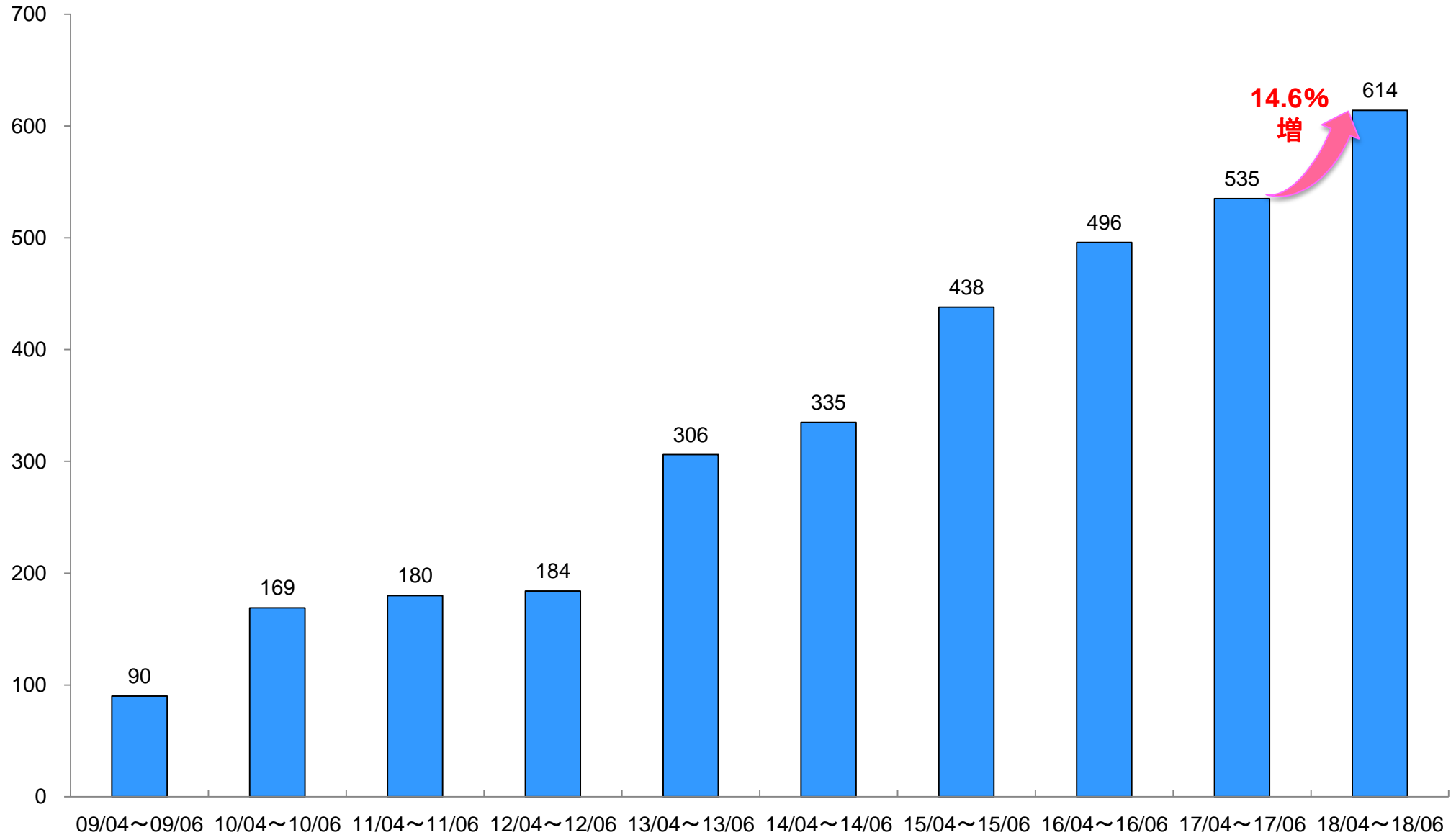
	2018年3月期 第1四半期 (2017年4月～2017年6月)	2019年3月期 第1四半期 (2018年4月～2018年6月)	増減率 (%)
売上高	1,551,405	1,788,364	15.3
営業利益	532,900	573,296	7.6
経常利益	535,831	614,102	14.6
当期利益	356,912	401,737	12.6

※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

連結経常利益の推移

9期連続の増益、6期連続の最高益を更新

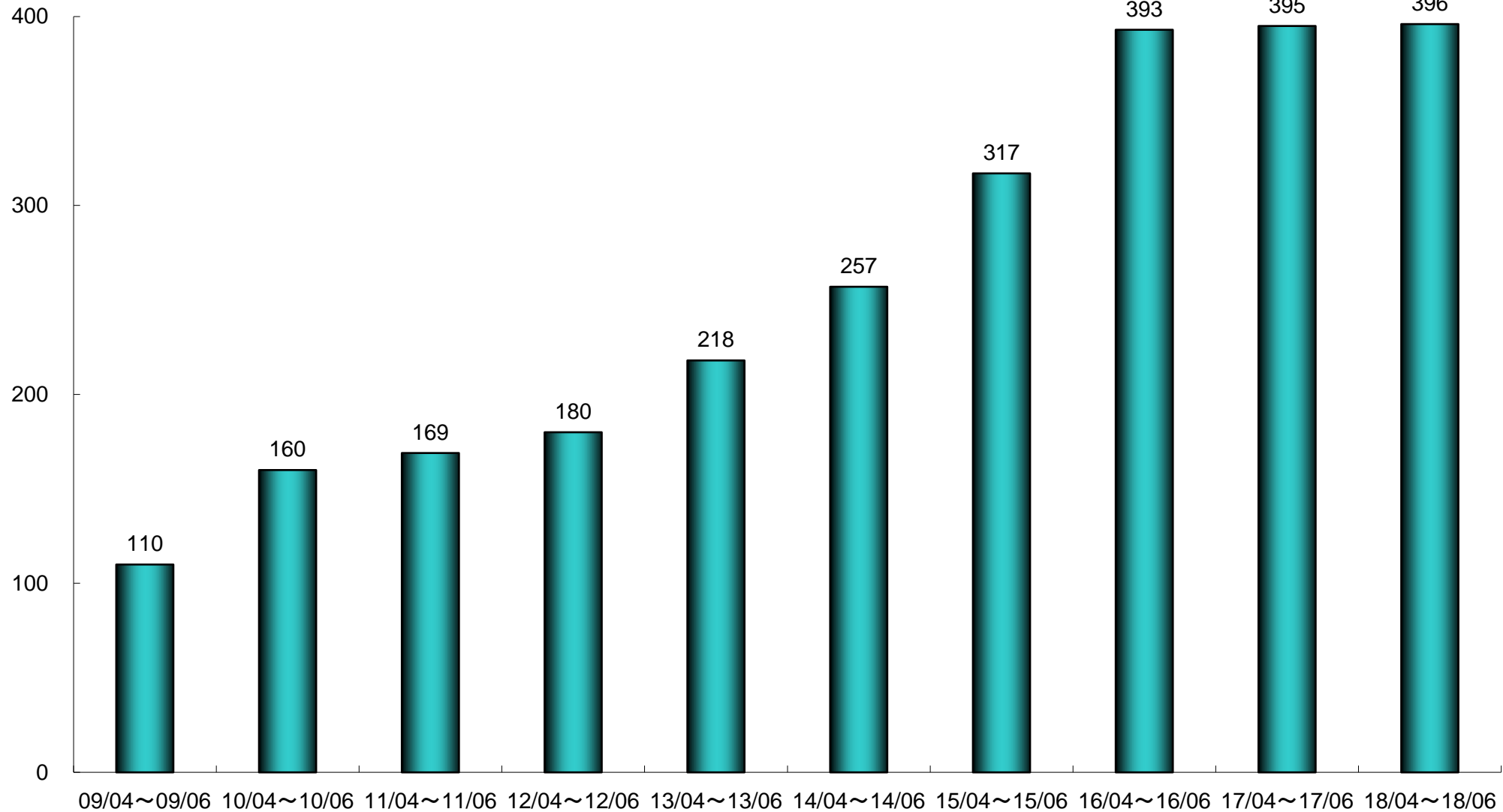
(単位:百万円)



モーニングスター単体の経常利益の推移

9期連続の増益、7期連続の最高益を更新

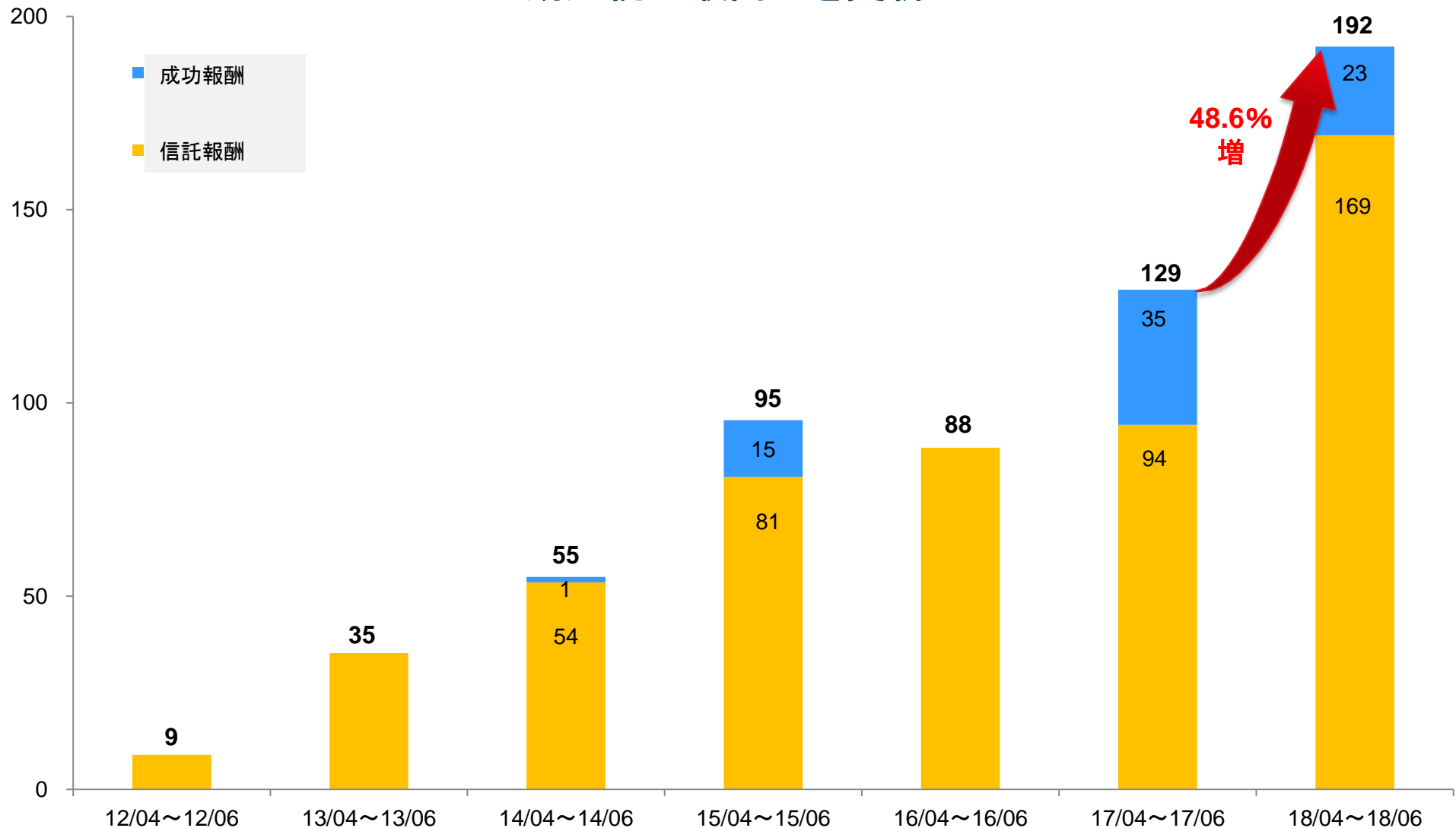
(単位:百万円)



SBIアセットマネジメントの経常利益の推移

成功報酬の減少にもかかわらず、大幅な増益を達成
2期連続の最高益を更新

(単位: 百万円)



※ 子会社SBI Fund Management Company S.A.を連結した数値。

主なサービス別の売上高の増減

(単位:千円)

セグメント	サービス名称	2018年3月期 第1四半期 (2017年4月～6月)	2019年3月期 第1四半期 (2018年4月～6月)	増減率
データ・ソリューション	ファンドデータ (タブレット)	87,548	91,447	4.5%
	(ウェブASP・ロボアド)	175,475	181,659	3.5%
	ファンド・レポート	87,497	80,594	-7.9%
	株式新聞購読料 (新聞)	57,572	53,591	-6.9%
	(Web版)	8,472	8,674	2.4%
メディア・ソリューション	ウェブ広告&セミナー	227,167	236,486	4.1%
	ウェブコンサルティング (ゴメス・コンサルティング)	72,009	64,894	-9.9%
アセット・マネジメント	運用受託報酬 (SBIアセットマネジメント)	740,234	995,920	34.5%

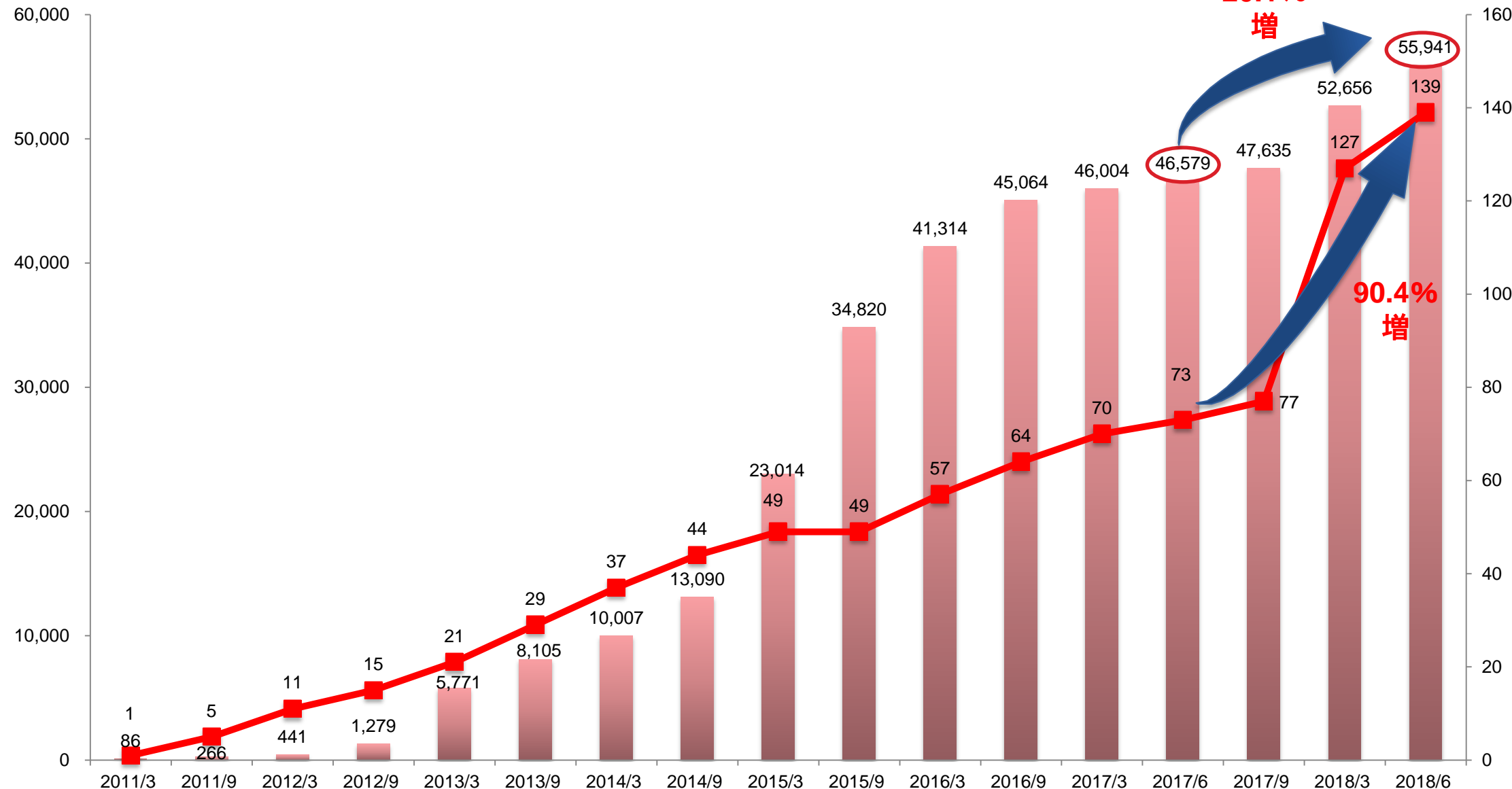
タブレットアプリの提供社数及び提供台数

提供社数: 139社 / 提供台数合計: 55,941台

<2018年6月末現在>

(単位: 台数)

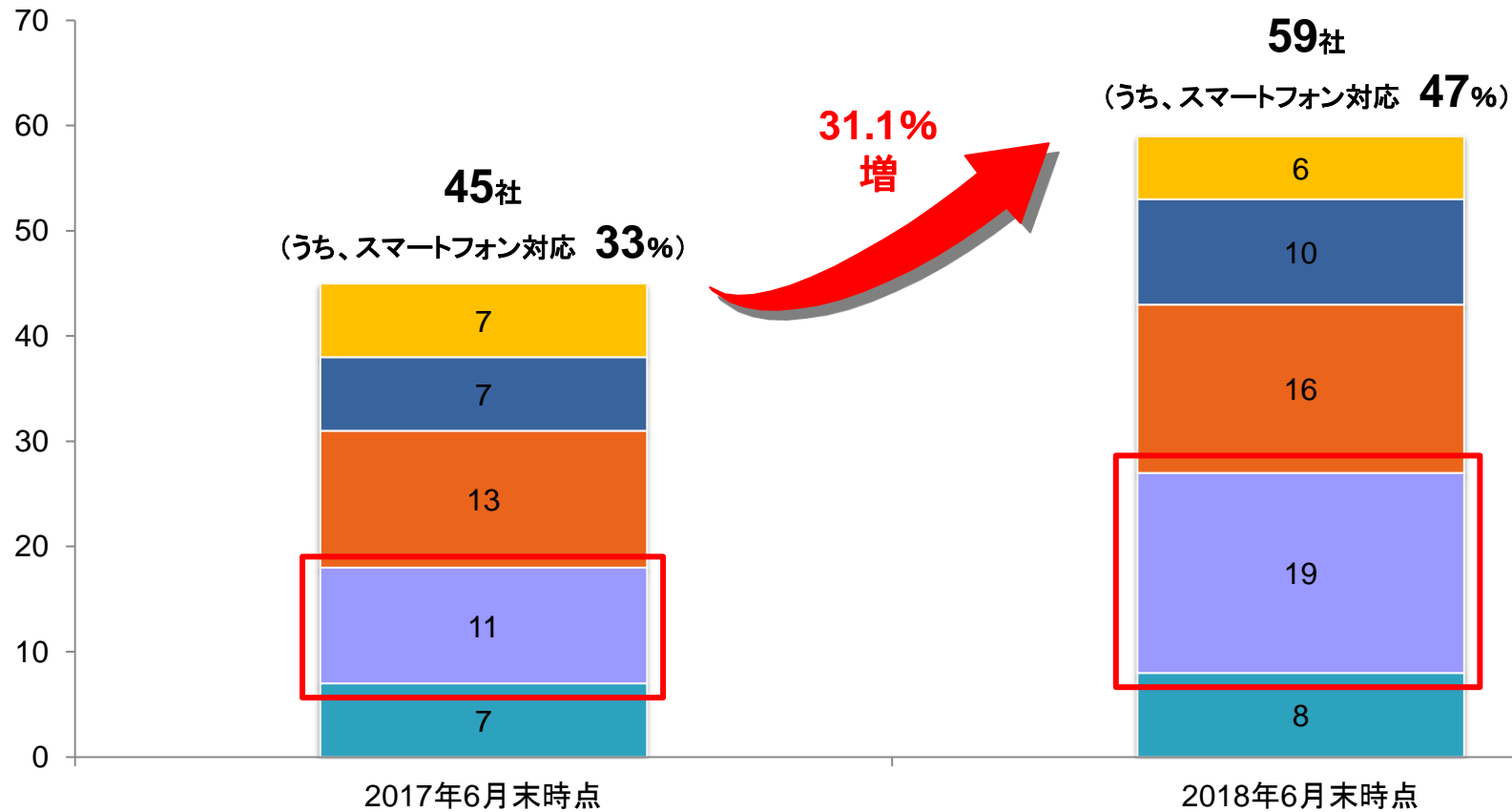
(単位: 社数)



PC、スマートフォン向けの投信データの提供先は、 地域金融機関を中心に増加

投資信託データASP提供社数の推移

(単位:社数)



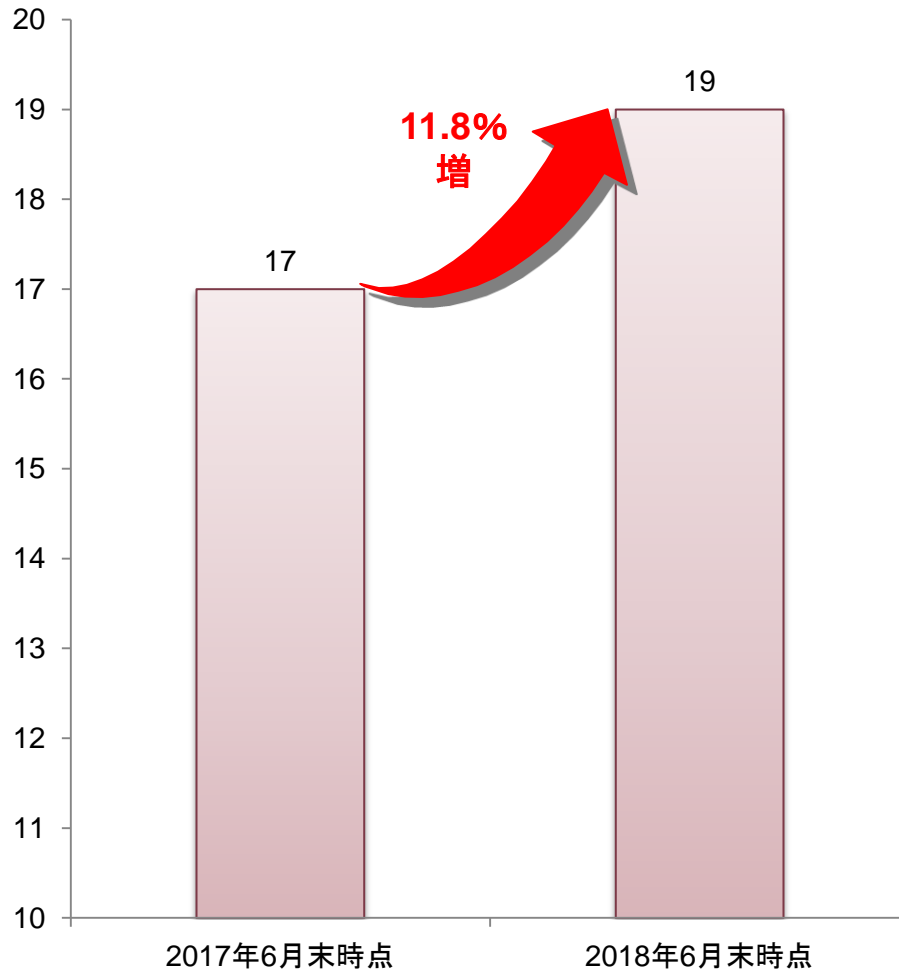
- ポータル、その他
- 運用会社
- 証券
- 地域金融機関
- 銀行(メガ、信託、ネットバンク等)

ロボ・アドバイザーツールの提供先の拡大

各販売金融機関向けにカスタマイズした「ロボ・アドバイザー」ツールの提供

- ① 投信初心者向けに「はじめての1本」を提案
- ② 投信保有者に「リバランス」を提案

(単位:社数)



投信初心者向けに「はじめての1本」を提案

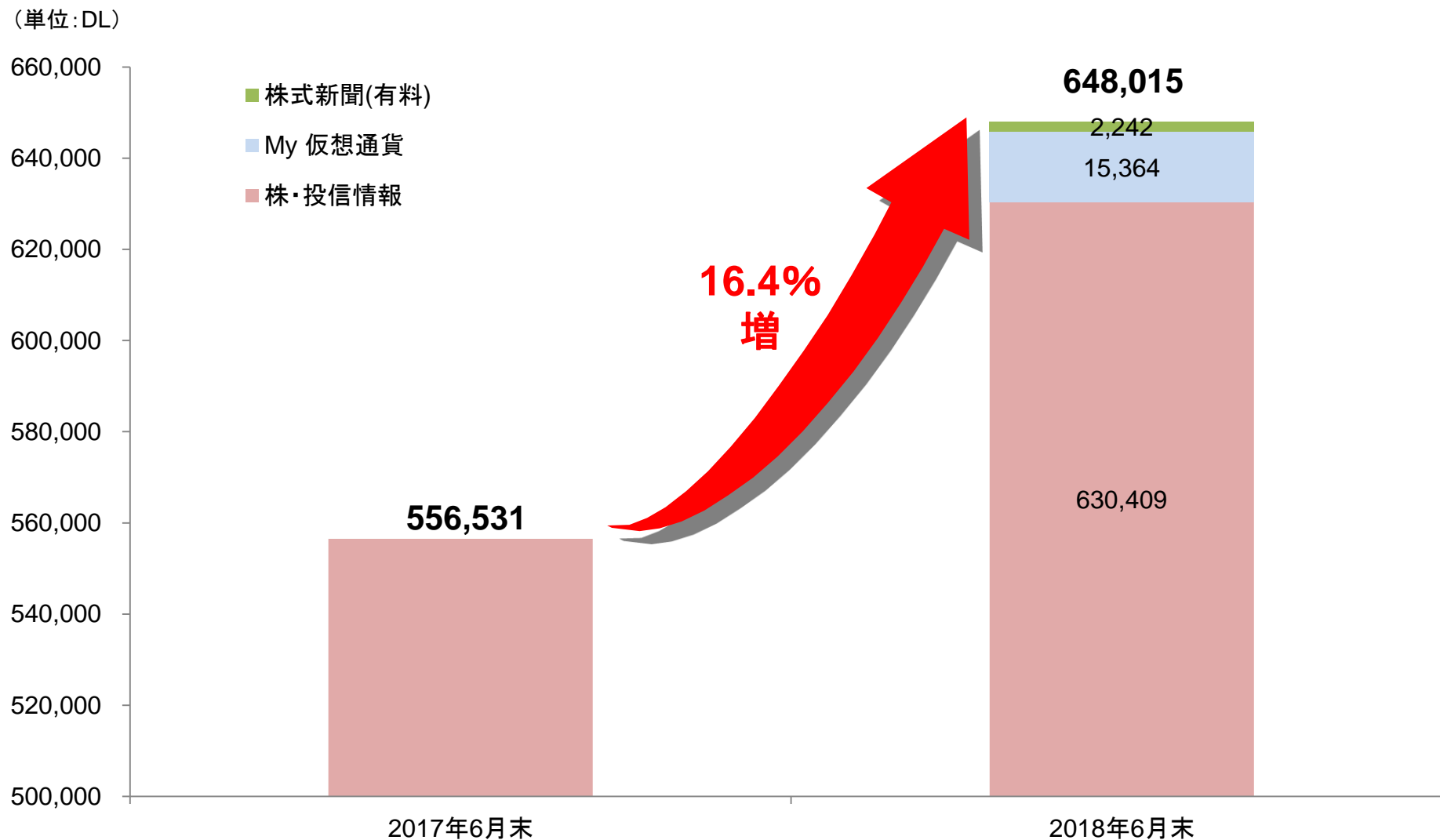


投信保有者に「リバランス」を提案



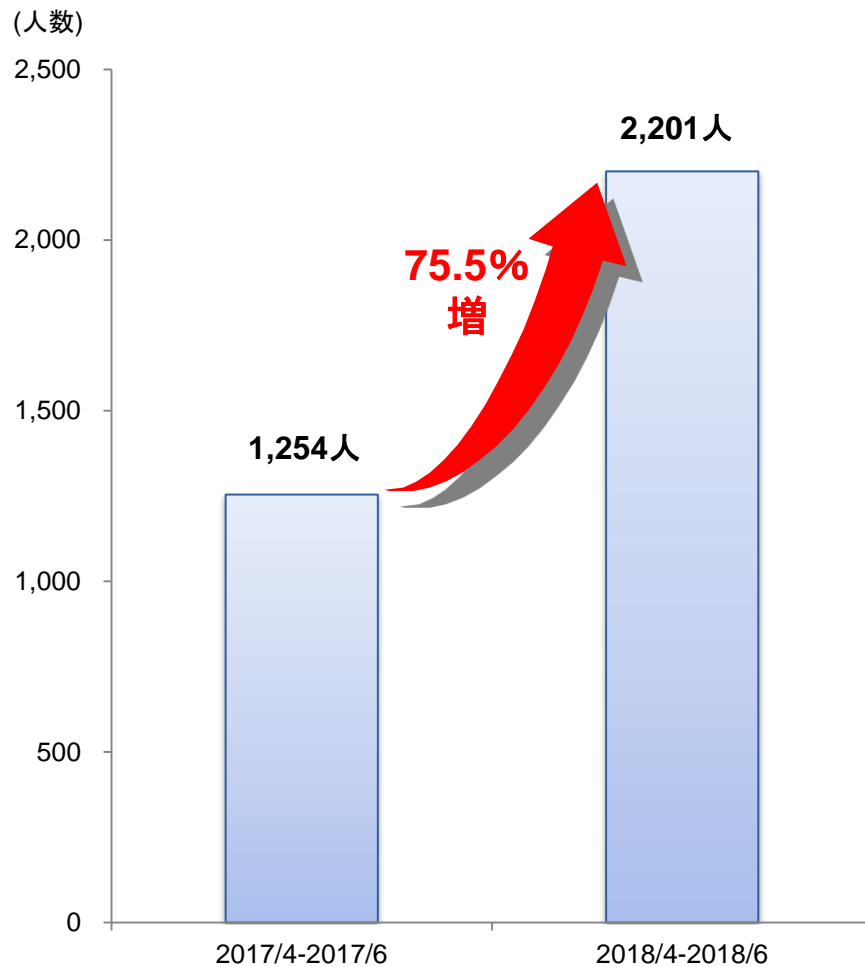
スマートフォンアプリのダウンロード数は約65万

＜スマートフォンアプリのダウンロード数＞

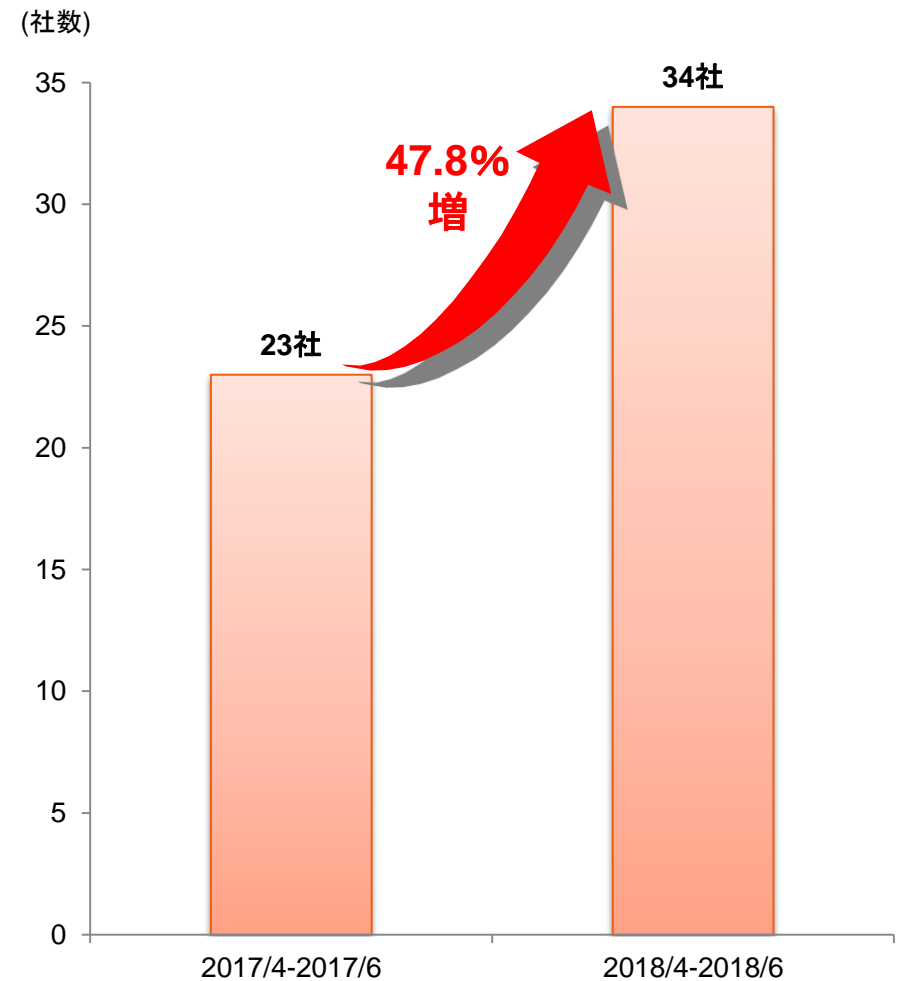


個人投資家向けセミナーの 参加人数とスポンサーの数が大幅に増加

＜セミナー参加人数＞



＜スポンサーの数＞



メディア・ソリューションの売上増は、仮想通貨広告、ファンドマネジャー動画広告、セミナースポンサーの拡大が寄与

<仮想通貨広告>

<ファンドマネジャー動画広告>

<セミナースポンサー>

仮想通貨をはじめるなら
DMM Bitcoin
様々な手数料がOFF! 仮想通貨の理解が豊富!

仮想通貨をはじめるなら
【公式】One Tap BUY

特別対談
もうすぐ5Gが世界を変えます
三井住友トラスト・アセットマネジメント 代表取締役社長 平本秀樹 氏
Morningstar 代表取締役社長 朝倉智也 氏
商品を開発していくことは

SPECIALIST MOVIE
日々の運用を手掛けるファンドマネジャーが語る成功の秘訣
米国屈指の運営力、バリュー投資成功の秘訣
Schroders ショロダー・インベストメント・マネジメント株式会社 投資部 朝田 太郎 氏

世界の富裕層が取り入れる
ビテアの資産保全術とは
東京会場 2018年5月8日(水) 18:00開演
大阪会場 2018年5月14日(月) 18:00開演
プログラム
18:00 世界の富裕層が取り入れるビテアの資産保全術とは
19:00-20:30 ビテアの資産保全術とは
20:30 質疑

2018年 米国株の投資のしめ方
米国株式・ETFセミナー
一成長企業の魅力がわかる！
これからはじめる米国株投資
2018年4月21日(土) 東京ミッドタウン ホールA
18:00開演

SMBC・アンディプロテクト&スイッチファンド
運用報告会のご案内
東京会場 2018年5月8日(水) 18:00開演
大阪会場 2018年5月14日(月) 18:00開演
プログラム
18:00-18:30 三井住友銀行 資産
18:30-19:00 運用報告会
19:00-19:30 質疑

投資セミナー for Smart Women
6月27日 水 ベルサール八重洲 A+B
18:40開演
プログラム
18:00 開演
18:00-18:30 第一 米国株の投資のしめ方
18:30-19:00 第二 米国株の投資のしめ方
19:00-19:30 第三 米国株の投資のしめ方
19:30-20:00 第四 米国株の投資のしめ方
20:00-20:30 質疑

仮想通貨アプリ「My 仮想通貨」の強化

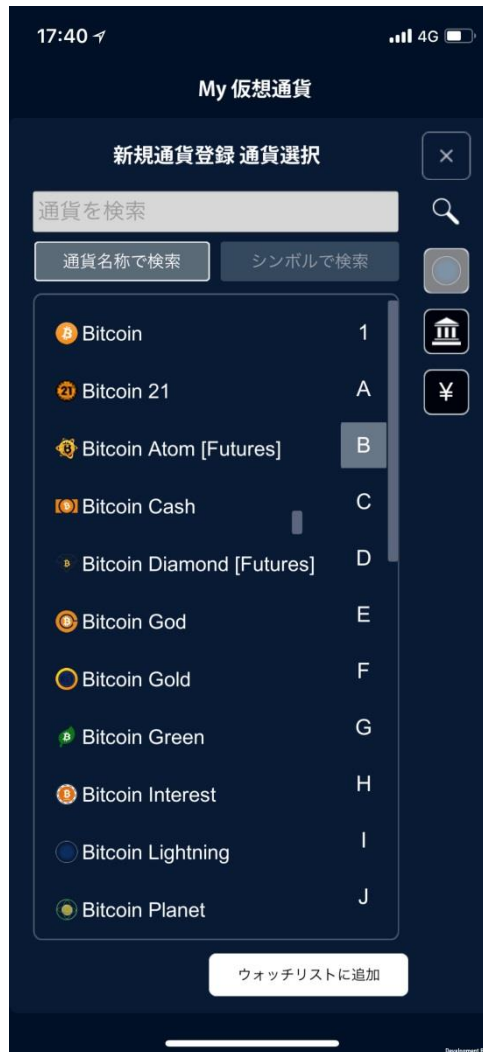
①
[UI(ユーザーインターフェイス)の改善]

ウォッチリストのレイアウトを変更し、見やすく使いやすい画面に



②
[UX(ユーザーエクスペリエンス)の改善]

通貨検索画面は、キーワード検索、通貨名称検索、シンボル検索を可能にし、利便性を大幅に向上



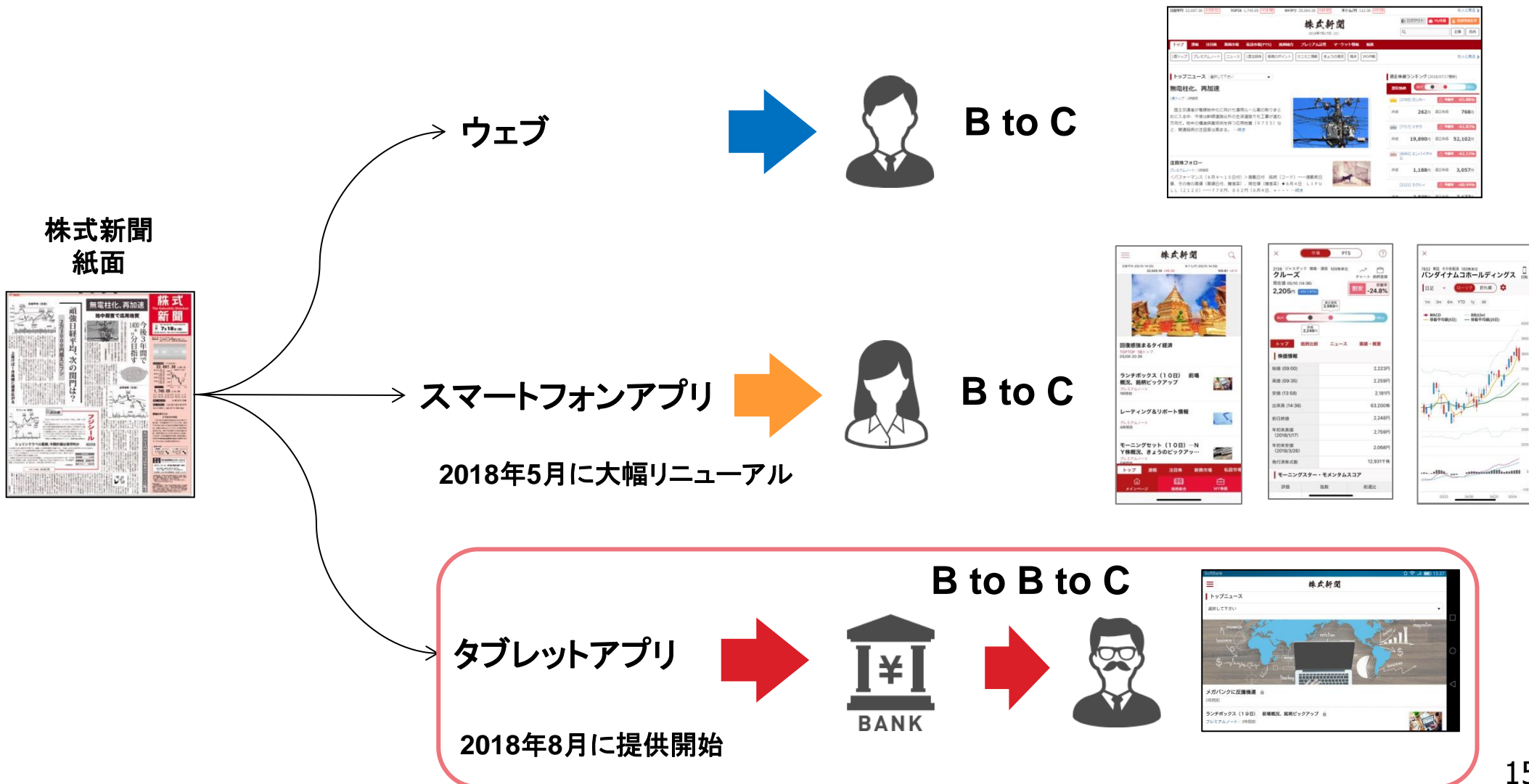
③
[コンテンツの拡大]

コインデスクの翻訳ニュースの本数を大幅に増加



株式新聞は大幅にデジタル化へ移行

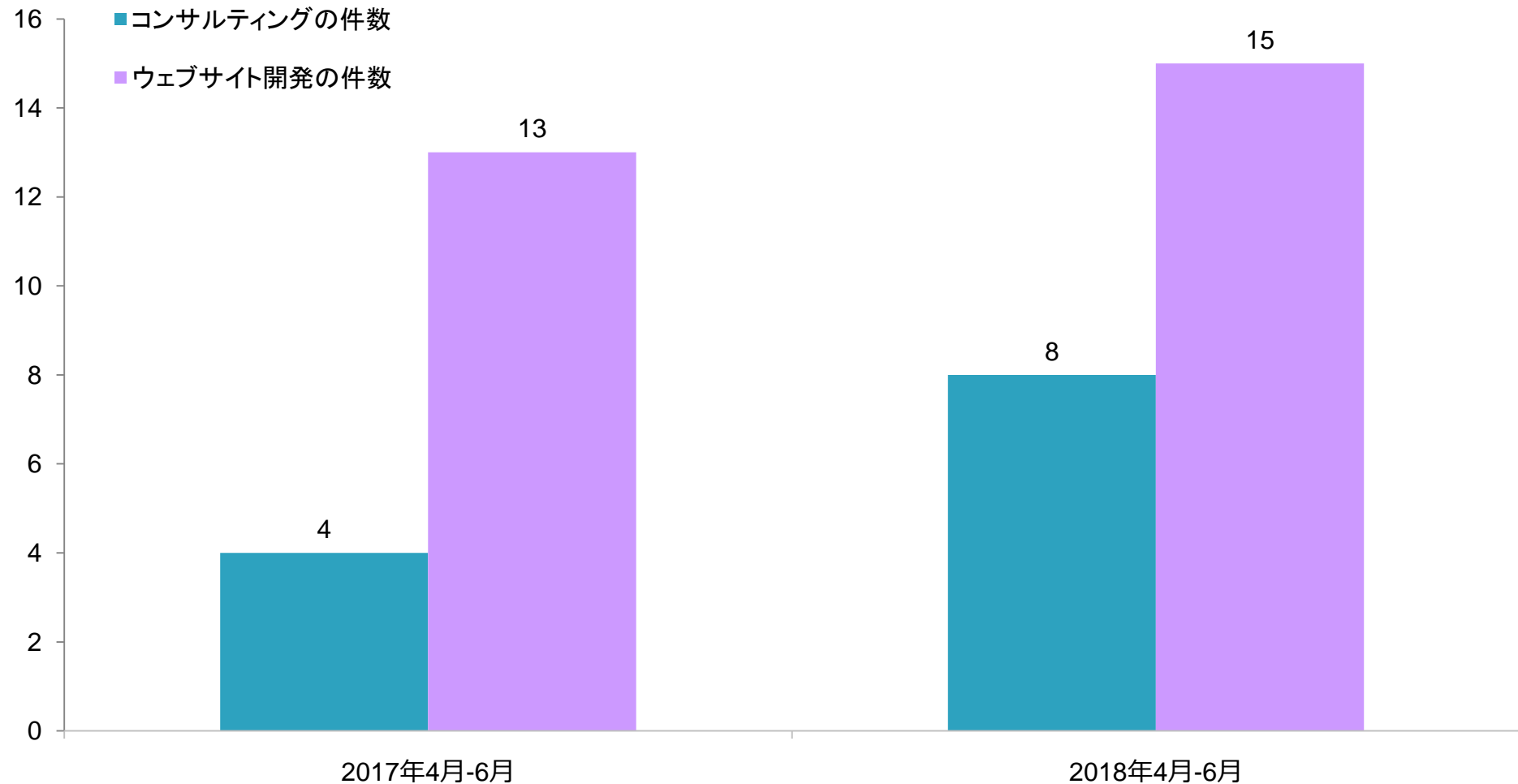
紙面からウェブ、スマートフォンアプリ、タブレットアプリに積極的に展開し、
 今後は銀行、証券会社のアドバイザーへの提供を拡大する



ゴメス・コンサルティングは 販売金融機関向けのコンサルティング、ウェブ開発案件が拡大

金融機関向けのサービス提供実績

(社数)



SBIアセットマネジメントの業績

運用するファンドの純資産残高増加により大幅な増収、増益を達成

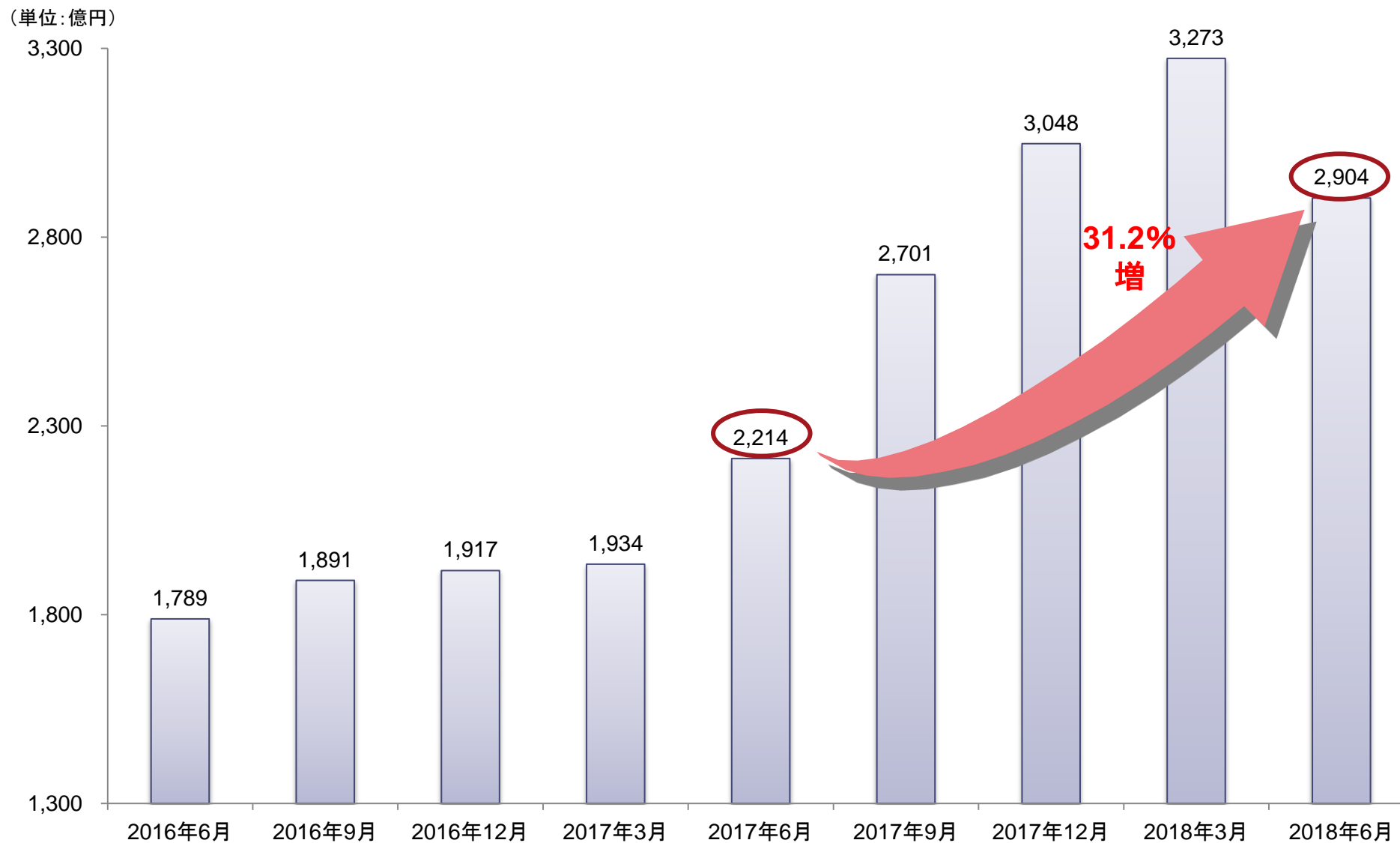
(単位:千円)

	2018年3月期 第1四半期 (2017年4月～6月)	2019年3月期 第1四半期 (2018年4月～6月)	増減率 (%)
売上高	740,234	995,920	34.5
営業利益	129,501	191,333	47.7
経常利益	129,308	192,198	48.6
当期利益	84,758	130,672	54.2

※ 子会社SBI Fund Management Company S.A.を連結した数値。
当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

SBIアセットマネジメントの純資産残高の推移

2018年6月末の純資産残高=2,904億円

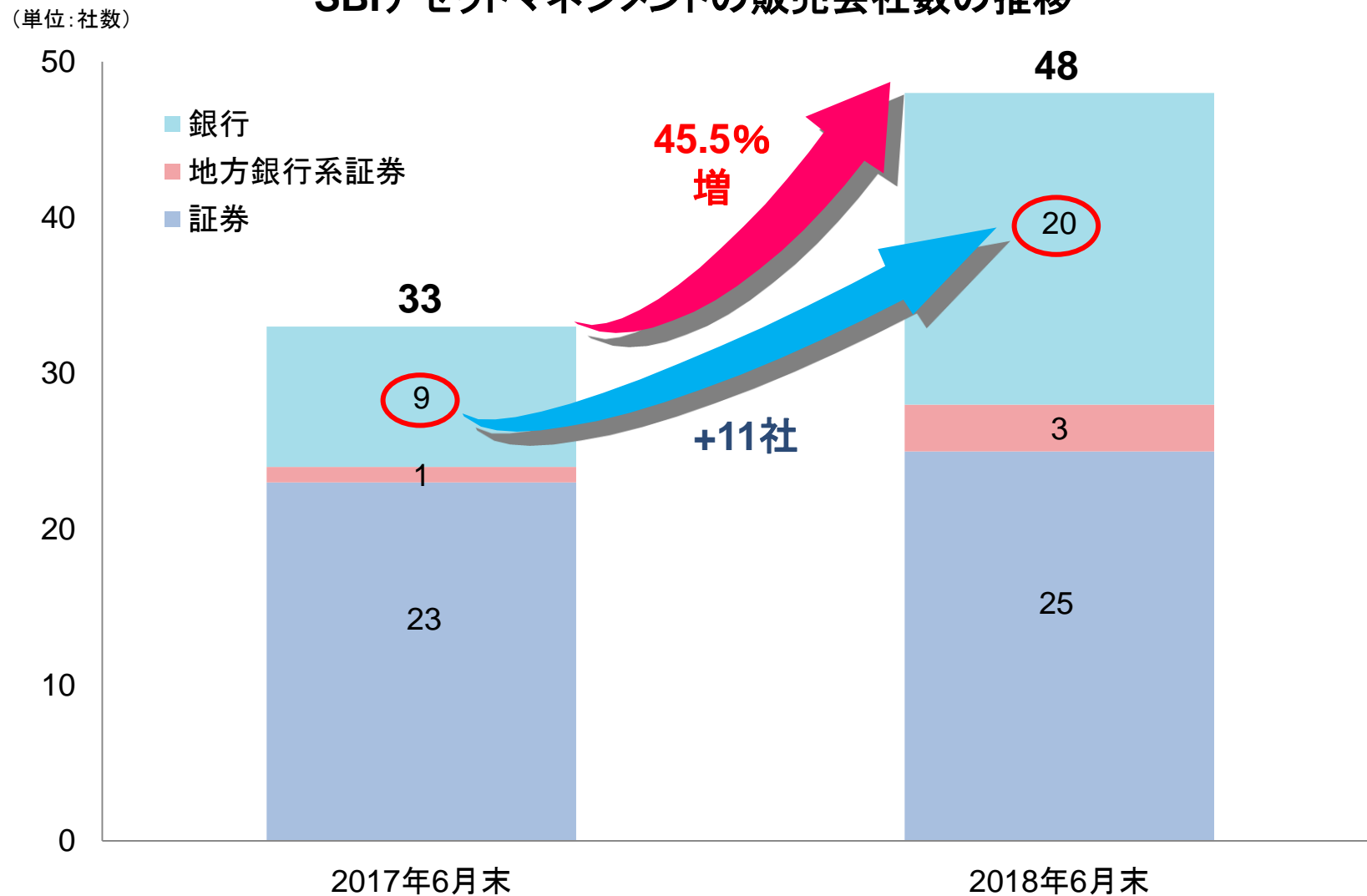


※データ期間: 2016年6月～2018年6月

SBIアセットマネジメントが運用するファンドの 取り扱い販売会社数が拡大

特に銀行の取り扱いが増加

SBIアセットマネジメントの販売会社数の推移



Part 2

今後の重点戦略

「モバイル・ファースト」戦略の更なる推進のため 多様なコミュニケーションツールへの展開



スマートフォン

合計DL数: 648,015DL



SNS

フォロワー数
Facebook: 15,186人
Twitter: 39,651人



タブレット

提供社数: 139社
提供台数: 55,941台

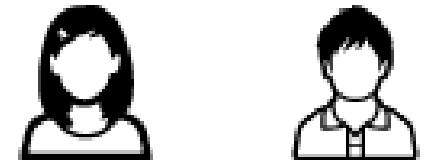


AIスピーカー
「Amazon Alexa」
&
スマートフォン



① B to C

個人へ提供



② B to B to C

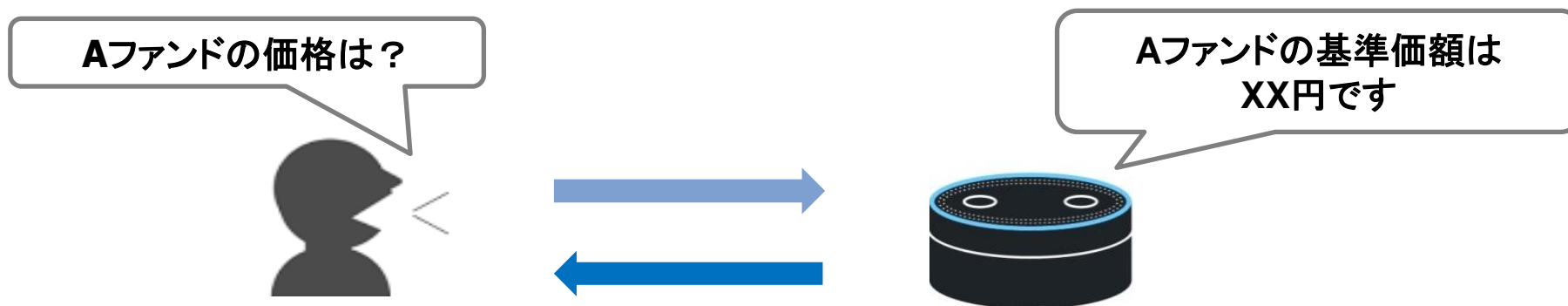
各金融機関向けにカスタマイズ
してOEM形態による提供



AI(人工知能)スピーカー「Amazon Alexa」による 国内全投資信託、世界株価指数、仮想通貨の価格情報の提供開始

投資信託や世界各国の市場指数、仮想通貨の価格を読み上げ、
銘柄登録(ポートフォリオ)機能も実装

Amazon Alexaを用いた基準価額情報のサービスイメージ



●他社Alexaスキルとの機能比較

	モーニングスター	野村証券	QUICK
投資信託の価格情報	●	—	—
指数や仮想通貨の価格情報	●	—	—
銘柄登録(ポートフォリオ)機能	●	—	—
株価情報	—	●	●
ニュース、相場概況等	—	●	—

タブレットアプリは投信データの提供から ロボ・アドバイザー、ライフプランシミュレーションへの展開

<投信アドバイス>



<ウエルスマネジメントへ>

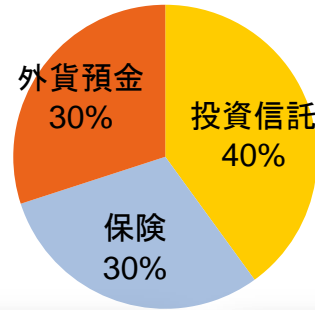
投資信託INDEX
(ファンドの詳細情報)

ロボ・アドバイザー
(運用シミュレーションツール)

ライフプラン
シミュレーション

(投信、保険、外貨預金等を
組み合わせたシミュレーションツール)

(相続、贈与、財産管理等)



タブレットアプリに「ライフプランシミュレーション」ツールを標準装備

- ・収入・支出・資産の将来推計
- ・金融機関は個人投資家のみならず、得意先の職域営業ツールとしても活用できる

◆事前セット

各種統計データ
(総務省等)

◆手入力データ

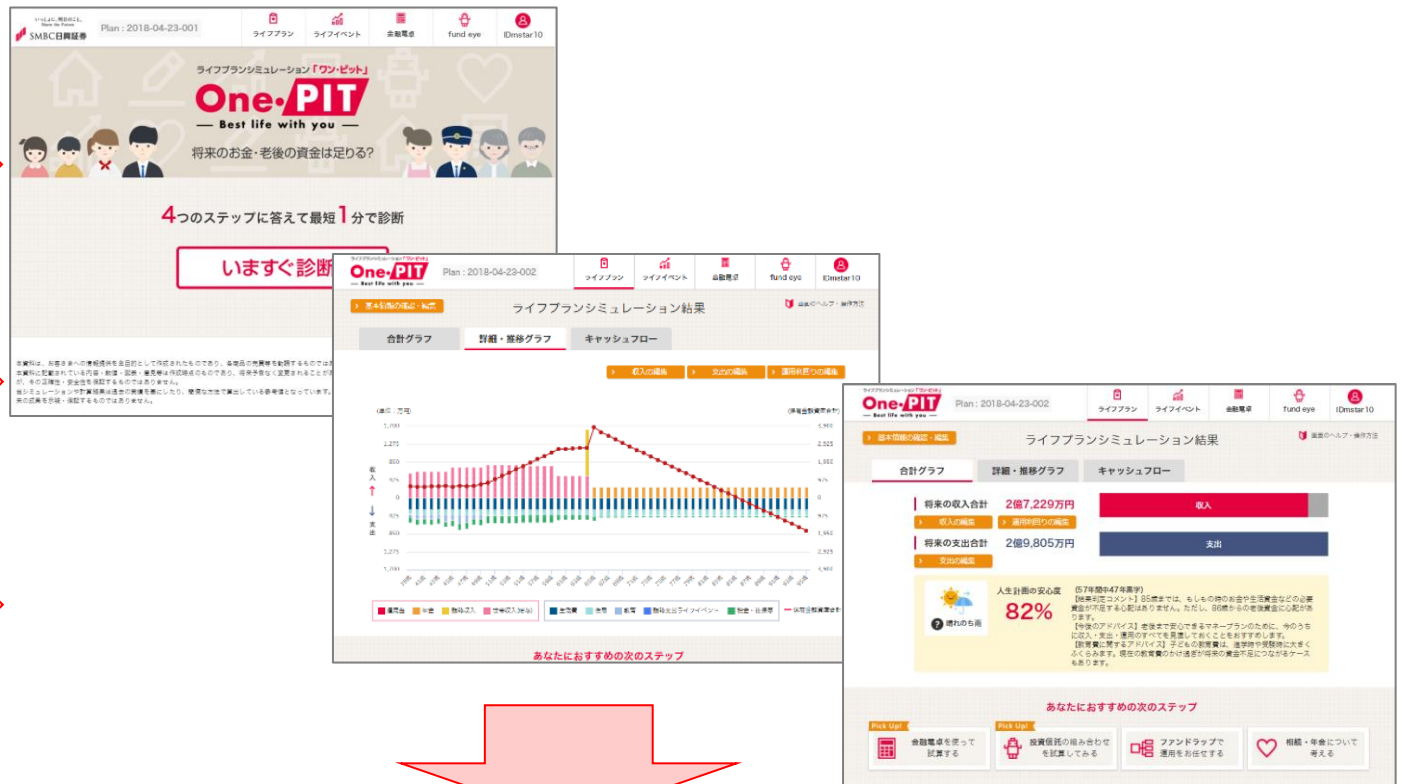
年齢、性別、
家族構成、年収 等

◆自動連携データ

オープンAPI or
アグリゲーション

◆システム連携

IBでの操作ログ
(顧客の金融商品趣向)



投資信託

NISA/iDeCo

保険

RPAの積極的活用による時間とコストの削減効果

業務削減は年間約27千時間、削減効果は8,000万円を見込む

	業務内容	RPA実施前 (時間/年)	RPA実施後 (時間/年)	削減時間(時間/年) 削減率(%)	削減コスト※1 (百万円/年)
①	投信データ入力 (目論見書)	6,360	750	5,610 (89.2%)	16.83
②	投信データ入力 (運用報告書)	12,500	1,500	11,000 (88.0%)	33.00
③	法定資料PDF更新 ※2	8,362	1,500	6,862 (82.0%)	20.58
④	株式ニュース記事作成 (決算短信)	1,050	350	700 (66.6%)	2.10
⑤	株式評価レポート作成	3,200	400	2,800 (87.5%)	8.40
	合計	31,472	4,500	26,972	80.91

※1. 削減コストの算出では、人的コスト1時間3,000円として計算

※2. 法定資料PDF更新とは、運用会社が発行する目論見書、運用報告書、月報、販売用資料などのPDF資料を運用会社から収集し、販売会社サイトへ配布するサービス

データ入力関連のRPA

① 投信データ入力(目論見書)	② 投信データ入力(運用報告書)	③ 法定関連資料PDF更新																																				
<p>(年間作業時間(h))</p> <table border="1"> <caption>① 投信データ入力(目論見書)の作業時間削減</caption> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>作業時間(h)</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施前</td> <td>6,360</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>一次開発完了時(現時点)</td> <td>2,544</td> <td>60%減</td> </tr> <tr> <td>二次開発完了時(2018年10月末)</td> <td>750</td> <td>89%減</td> </tr> </tbody> </table>	段階	作業時間(h)	削減率	実施前	6,360	-	一次開発完了時(現時点)	2,544	60%減	二次開発完了時(2018年10月末)	750	89%減	<p>(年間作業時間(h))</p> <table border="1"> <caption>② 投信データ入力(運用報告書)の作業時間削減</caption> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>作業時間(h)</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施前</td> <td>12,500</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>一次開発完了時(現時点)</td> <td>7,000</td> <td>44%減</td> </tr> <tr> <td>二次開発完了時(2018年10月末)</td> <td>1,500</td> <td>88%減</td> </tr> </tbody> </table>	段階	作業時間(h)	削減率	実施前	12,500	-	一次開発完了時(現時点)	7,000	44%減	二次開発完了時(2018年10月末)	1,500	88%減	<p>(年間作業時間(h))</p> <table border="1"> <caption>③ 法定関連資料PDF更新の作業時間削減</caption> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>作業時間(h)</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施前</td> <td>8,362</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>一次開発完了時(現時点)</td> <td>4,766</td> <td>43%減</td> </tr> <tr> <td>二次開発完了時(2018年10月末)</td> <td>1,500</td> <td>82%減</td> </tr> </tbody> </table>	段階	作業時間(h)	削減率	実施前	8,362	-	一次開発完了時(現時点)	4,766	43%減	二次開発完了時(2018年10月末)	1,500	82%減
段階	作業時間(h)	削減率																																				
実施前	6,360	-																																				
一次開発完了時(現時点)	2,544	60%減																																				
二次開発完了時(2018年10月末)	750	89%減																																				
段階	作業時間(h)	削減率																																				
実施前	12,500	-																																				
一次開発完了時(現時点)	7,000	44%減																																				
二次開発完了時(2018年10月末)	1,500	88%減																																				
段階	作業時間(h)	削減率																																				
実施前	8,362	-																																				
一次開発完了時(現時点)	4,766	43%減																																				
二次開発完了時(2018年10月末)	1,500	82%減																																				
<p>目論見書データ自動取得システムの一次開発が終了。 訂正機能を含んだ二次開発に着手。</p>	<p>運用報告書から基本情報を自動取得するシステムの一次開発が終了。 組入銘柄等の自動化対応に向けた二次開発に着手。</p>	<p>目論見書PDF資料自動登録システムの一次開発が終了。 他のレポート類の自動化への二次開発に着手。</p>																																				

※1. 法定資料PDF更新とは、運用会社が発行する目論見書、運用報告書、月報、販売用資料などのPDF資料を運用会社から収集し、販売会社サイトへ配布するサービス

情報配信関連のRPA

④ 株式ニュース記事作成(決算短信)	⑤ 株式評価レポート												
<p>(年間作業時間(h))</p> <table border="1"> <caption>④ 株式ニュース記事作成(決算短信)の作業時間</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>年間作業時間(h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施前(現時点)</td> <td>1,050</td> </tr> <tr> <td>開発完了時(2018年10月末)</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table> <p>66.6%減</p>	時期	年間作業時間(h)	実施前(現時点)	1,050	開発完了時(2018年10月末)	350	<p>(年間作業時間(h))</p> <table border="1"> <caption>⑤ 株式評価レポートの作業時間</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>年間作業時間(h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施前(現時点)</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td>開発完了時(2018年10月末)</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>87.5%減</p>	時期	年間作業時間(h)	実施前(現時点)	3,200	開発完了時(2018年10月末)	400
時期	年間作業時間(h)												
実施前(現時点)	1,050												
開発完了時(2018年10月末)	350												
時期	年間作業時間(h)												
実施前(現時点)	3,200												
開発完了時(2018年10月末)	400												
<p>決算短信を要約して記事を作成するシステムの開発が完了。 現在は、ニュース配信用に文言を変換するシステムの開発に着手。</p>	<p>決算短信の要約記事取得用のAPIの開発、決算数値の自動反映システムの開発に着手。</p>												

AIを活用した分析評価レポートの作成へ

四半期ごとにアナリストが作成

レポート作成の自動化

トヨタ自動車 (7202)

Morningstar企業分析レポート

トヨタ自動車 (7202) 実証レポート

アナリストレーティング

アナリストレーティング	買い	6	平均3.6★
★★★★★	強買い	2	最も1★
★★★★	中買い	7	
★★★	弱買い	0	
★★	売却	2	

決算概要 (億円、円、千株は会社手数)

決算期	連17Q	連18Q予	17Q	18Q予	2116株	7,200株
売上高	275,972	290,000	114,763	113,000	520億株	7,000株
経常利益	21,938	24,500	18,017	15,700	520億株	5,670株
利益率	18.31%	24.00%	15.26%	13.50%		▲8.8%
配当	606	809	507	451	株数100株	235,197株
配当率	連18QPS 6.46%	-	-	-	配当利回り	32.8%

成長率(%、倍)

決算期	連17Q	連18Q予	17Q	18Q予
経常利益	▲26.5	11.7	▲21.1	▲12.9
EPS	11.9	8.9	14.2	16.0

会社概要

世界トップクラスの自動車メーカー、豊田佐吉氏が創業した豊田自動車株式会社(旧トヨタ自動車)の自動車部門(トヨタ自動車)が、トヨタ自動車(7202)の親会社として設立された。トヨタ自動車(7202)は、トヨタ自動車(7202)の親会社として設立された。トヨタ自動車(7202)は、トヨタ自動車(7202)の親会社として設立された。



- 速報化
- 本数増
- 人為的ミス軽減
- コスト削減

トヨタ自動車 (7202)

Morningstar企業分析レポート

トヨタ自動車 (7202) 実証レポート

アナリストレーティング

アナリストレーティング	買い	6	平均3.6★
★★★★★	強買い	2	最も1★
★★★★	中買い	7	
★★★	弱買い	0	
★★	売却	2	

決算概要 (億円、円、千株は会社手数)

決算期	連17Q	連18Q予	17Q	18Q予	2116株	7,200株
売上高	275,972	290,000	114,763	113,000	520億株	7,000株
経常利益	21,938	24,500	18,017	15,700	520億株	5,670株
利益率	18.31%	24.00%	15.26%	13.50%		▲8.8%
配当	606	809	507	451	株数100株	235,197株
配当率	連18QPS 6.46%	-	-	-	配当利回り	32.8%

成長率(%、倍)

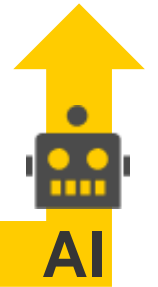
決算期	連17Q	連18Q予	17Q	18Q予
経常利益	▲26.5	11.7	▲21.1	▲12.9
EPS	11.9	8.9	14.2	16.0

会社概要

世界トップクラスの自動車メーカー、豊田佐吉氏が創業した豊田自動車株式会社(旧トヨタ自動車)の自動車部門(トヨタ自動車)が、トヨタ自動車(7202)の親会社として設立された。トヨタ自動車(7202)は、トヨタ自動車(7202)の親会社として設立された。トヨタ自動車(7202)は、トヨタ自動車(7202)の親会社として設立された。

データ部分の自動入力

AIを活用して、現状と将来予測を加味したレポートの作成



- ・決算短信
- ・企業のコーポレートアクション
- ・SNSの投稿記事
- ・他社のアナリストレポート
- ・マーケットの噂

SBIアセットマネジメントの純資産残高拡大に向けた商品戦略

2020年3月末迄に+5,000億円の増額を目指す

	国内	グローバル	新興国
商品 (ファンド)	<p>新しいコンセプトの 日本株ファンド 500億円</p>	<p>定率払い出し型ファンド 1,000億円</p>	<p>FinTech 中国株ファンド 200億円</p>
	<p>Jシリーズ(公募のみ) 1,100億 ⇒ 2,600億円 1,500億円</p> <p>日本・アジアフィンテック 30億 ⇒ 160億円 130億円</p>	<p>iDeCo 新規設定 150億円</p> <p>グローバルESG バランスファンド 300億円</p> <p>元本確保型 バランスファンド 1,000億円</p>	<p>アジアフロンティア 30億 ⇒ 100億 70億円</p> <p>インド&ベトナム株 100億 ⇒ 250億円 150億円</p>



既存ファンドの増額	: 2,000億円
新ファンド	: 3,000億円
合計	5,000億円